

## 理学療法学科専門基礎科目・専門科目のコース構成

【R4カリキュラム】(R5以降入学生用)

コースの名称 及びコースの説明	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
<b>(1)人体システムコース</b> 理学療法の基盤となるヒトのからだのしくみをその構造と機能および発達から学習する。	人体の構造 人体の機能	代謝生化学 薬理学 生涯人間発達 I 生涯人間発達 II 人体の機能実習 人体の構造実習						
<b>(2)基礎保健医療コース</b> ひとの健康や障害について、そして人を取り巻く環境も含め保健医療の基礎を学習する。	リハビリテーション概論 作業科学 セクシャリティと健康	健康障害の成り立ち I 病原微生物と免疫 放射線医学概論	臨床心理 医科学総合科目 I 保健医療福祉論 衛生・公衆衛生学 パラスポーツ	精神問題と対応 環境と放射線		医療とボランティア活動 医科学総合科目 II		言語病理 国際保健医療活動
<b>(3)基礎理学療法コース</b> 理学療法の基本的な考え方および理学療法法の基盤となる運動・動作について学び、理学療法法の基本的技術を習得する。	身体運動学 基礎理学療法学	運動学実習 臨床体験実習 I	理学療法基礎技術学 臨床体験実習 II	物理療法学		基礎理学療法学特論		
<b>(4)理学療法評価コース</b> 理学療法の対象とする障害のとらえ方や測定方法を含め問題点の抽出方法とまとめかたを習得する。		理学療法検査・測定法	理学療法基礎評価学	理学療法計画論 臨床実習 I		臨床実習 II		理学療法評価学
<b>(5)急性期理学療法コース</b> 理学療法の対象となる疾病や障害の急性期に必要な対応とリスク管理を習得する。						急性期理学療法学 理学療法リスク管理		
<b>(6)障害別理学療法コース</b> 理学療法の対象となる障害の特性を系統別に学び、対応する理学療法技術を習得する。			筋骨格障害と対応 筋骨格障害理学療法学 神経障害と対応 老年期障害と対応	内部障害と対応 脳血管障害理学療法学 小児期障害と対応	内部障害理学療法学 神経障害理学療法学 老年期障害理学療法学	スポーツ理学療法学		運動器障害理学療法学特論 ニューロリハビリテーション特論 呼吸ケア特論
<b>(7)生活期理学療法コース</b> 理学療法の対象となる障害を生活する場との関連で学び、人がその地域で生活するために必要な理学療法技術を習得する。		地域リハビリテーション			地域理学療法学 生活環境論 生活支援機器論	地域理学療法学実習		地域理学療法学特論
<b>(8)総合応用コース(理学療法学)</b> これまでの学習を応用し発展的に理学療法を捉え、さらにすべての知識や技術、態度を統合し、新たな課題や解決の方向性を見いだせる能力を習得する。						理学療法研究 I	総合臨床実習フィールドA・B	理学療法学総括演習 理学療法指導論 リハビリテーション管理学 理学療法研究 II 応用臨床実習
<b>(9)IPEコース</b> 多職種連携の意義、理念を理解し、保健・医療・福祉の場において、多職種との連携や相互補完、協働する態度及び能力を習得する。	チームワーク入門実習 ※1			チームワーク演習 ※1				多職種協働演習
								国際多職種協働実習 I (1~4年前期) 国際多職種協働実習 II (1~4年後期) 地域多職種協働実習(1~4年)
	※1 基礎科目							